

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		公共下水道計画事業				②事業番号		6313									
③事業類型		5. 普通建設事業		④開始年度		昭和 63 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし							
⑥根拠法令等		○ 法令		条例		規則		要綱		計画等		その他		法令等の名称		下水道法	
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担		その他							
⑧関連予算科目コード		款		2		項		1		目		1		細目		3	
⑨担当部名		上下水道部		⑩担当課名		下水道整備課								会計		下水道事業特別会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位													
① 公共下水道施設		① 認可面積		ha													
②		②															
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位													
約5年に一度、下水道計画・事業計画変更協議を行い、告示及び広報等で公表を行う。 平成26年度に信達牧野地区等、平成29年度に新家地区の事業計画を策定した。		① 整備面積		ha													
		②															
		③															
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位													
下水道計画・事業計画変更を行い、公共下水道の整備を進める。		普及率		%													
		① 計算式		供用開始済人口/行政人口×100													
		② 計算式															
		③ 計算式															
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け															
整備区域を拡大し、公共下水道の普及率の向上を図る。		<table border="1"> <tr> <td>政策(章)</td> <td>5</td> <td>快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち</td> </tr> <tr> <td>施策大(節)</td> <td>2</td> <td>活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします</td> </tr> <tr> <td>施策中</td> <td>4</td> <td>下水道整備の推進</td> </tr> <tr> <td>施策小</td> <td>1</td> <td>下水道の整備</td> </tr> </table>				政策(章)	5	快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	施策大(節)	2	活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします	施策中	4	下水道整備の推進	施策小	1	下水道の整備
政策(章)	5	快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち															
施策大(節)	2	活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします															
施策中	4	下水道整備の推進															
施策小	1	下水道の整備															

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	認可面積	ha	803.51	803.51	826.30	826.30	826.30	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	整備面積	ha	642.92	649.57	656.36	662.48	663.77	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	普及率	%	55.8	56.9	57.3	57.3	57.7	
成果指標②								事業費などの推移における 特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.95	0.85	0.85	0.85		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	7,630	6,826	6,826	6,826		H29年度に公共下 水道認可変更委託を 行った。
	直接事業費	千円	16,900	46,486	44,284	23		
	総事業費	千円	24,530	53,312	51,110	6,849		
財源内訳	国庫支出金	千円	7,227	18,628	20,943	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	17,303	34,684	30,167	6,424		
	一般財源	千円	0	0	0	425		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	公共下水道の整備に着手するため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	平成29年度に策定した事業計画に基づき進めていく。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	公共下水道の全体計画、認可変更を行い、整備区域を拡大して行く事で、普及率の向上が図られている。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	事業の計画・認可変更は市が行うことと、下水道法で義務付けられている。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	事業認可取得毎に計画区域・人口の見直しを行っており、現実合った計画を行っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	公共水域の悪化につながる為、休止は考えられない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	本事業で計画・認可策定した事業は、整備事業に移行していく。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	事業認可取得毎に計画区域・人口の見直しを行っており、現実合った計画を行っている。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	類似事業はない。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	計画及び認可等の策定業務のため見直しは出来ない。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止
	(年まで) (年から) (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—